

## 平成28年度保護林拡充のための調査中間報告(ウバメガシ)

## ■業務概要

弦場山には、1303林班に小班に1.47haのウバメガシの林木遺伝資源保存林が存在する。今回の調査では、既存の保護林の周辺に位置するウバメガシの生育地において植物及び動物の調査を実施する。

## ■対象地

高知県大月町に位置する弦場山国有林1303と小班

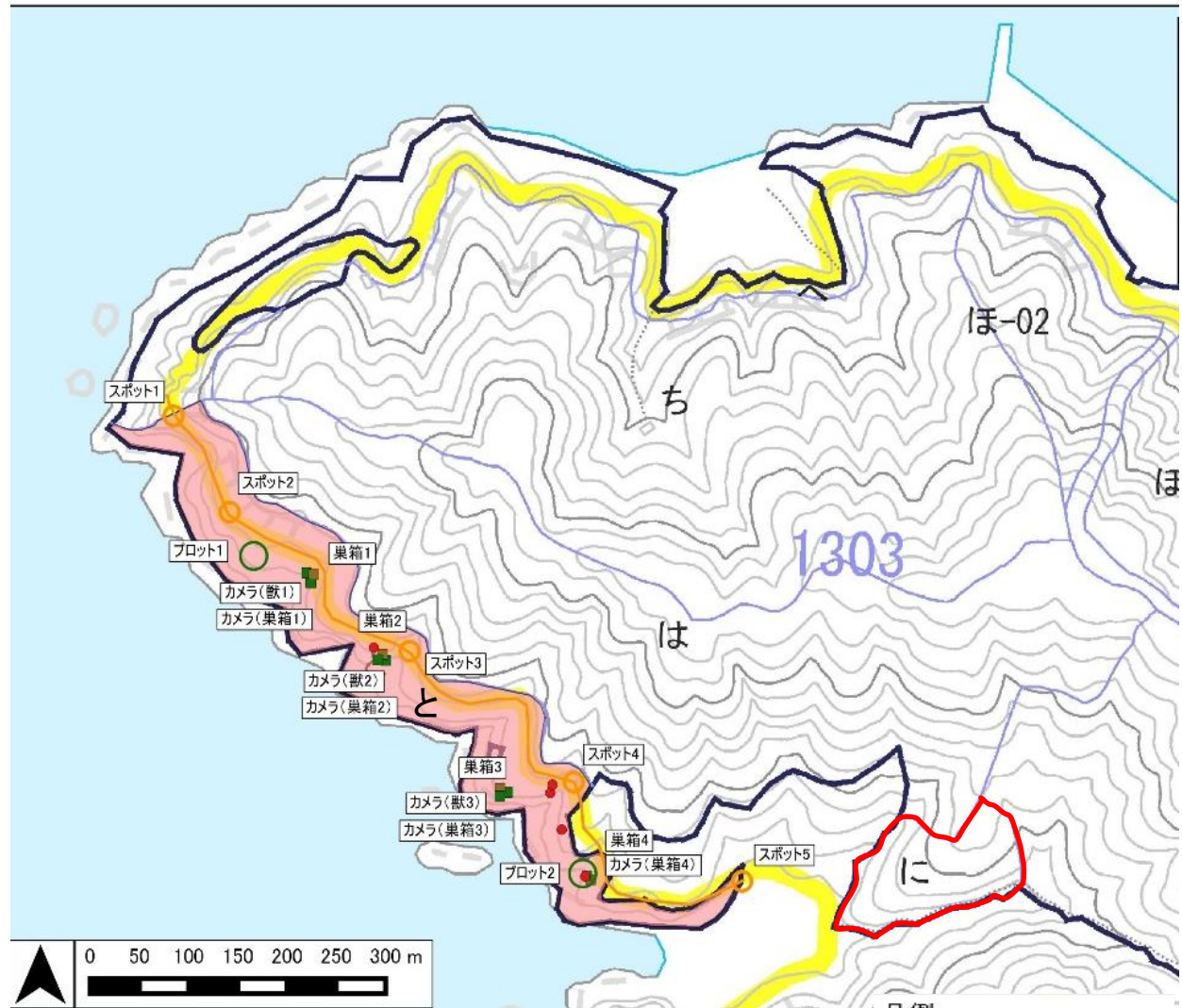
## ■調査方法

## 【植物】

- ・森林プロット調査  
(毎木調査、植生調査等)
- ・巨木・希少種調査

## 【動物】

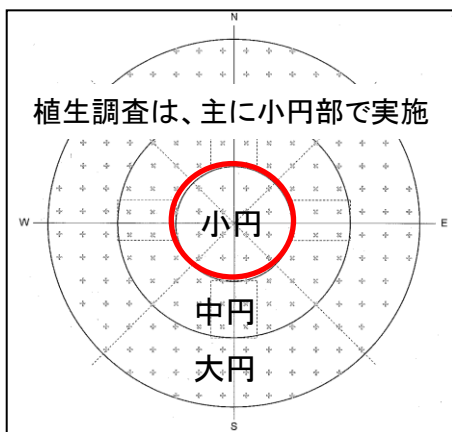
- ・ほ乳類の生息状況調査  
(自動撮影カメラ及び巣箱の設置)
- ・鳥類の生息状況調査  
(ラインセンサス法、スポットセンサス法)



## 凡例

- 保護林設置検討範囲
- ウバメガシの巨木
- 森林プロット調査位置
- ほ乳類\_カメラ
- ほ乳類\_巣箱
- 鳥類\_スポットセンサス位置
- 鳥類\_ルートセンサス位置

# 森林プロット調査



森林調査プロット 0.10 ha

小円 0.01 ha  
中円 0.03 ha  
大円 0.06 ha

		プロット1	プロット2
高木層	植被率(%)	95	95
	種数	2	2
	優占種	ウバメガシ	ウバメガシ
亜高木層	植被率(%)	60	40
	種数	4	4
	優占種	タイミンタチバナ	ヒメユズリハ
低木層	植被率(%)	60	5
	種数	19	10
	優占種	タイミンタチバナ	ヒサカキ
草本層	植被率(%)	30	5
	種数	10	15
	優占種	タイミンタチバナ	ヤブムラサキ
小円部の出現種数		26	22
中円部の初出種数		9	1
大円部の初出種数		8	2
合計出現種数		43	25
病虫獣害		—	—

- ・プロット1では98本のうち、ウバメガシが28本、タイミンタチバナが43本であった。
- ・プロット2では118本のうち、ウバメガシが82本、タイミンタチバナが14本であった。
- ・いずれのプロットでもウバメガシがまとまって生育しているほか、常緑広葉樹が多い。
- ・いずれのプロットでも高木層にはウバメガシが優占。
- ・亜高木層以下にもヒメユズリハやタイミンタチバナ等の常緑広葉樹が目立つ。

# 巨木・希少種調査

- ・5本のウバメガシの巨木(胸高直径50cm以上の樹木)を確認。
- ・希少植物の生育は確認されなかった。

